

新年明けましておめでとうございます。年の初めにあたりまして一言ごあいさつ申し上げます。日頃から町政に対する深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、ヤクルト本社との企業立地協定が結ばれました。企業の進出により地域経済の活性化と雇用創出が期待されます。また、平成 27 年度国勢調査の結果が確定し、日本の総人口が初めて減少に転じるなか、本町においては 151 人とわずかではありますが、増加するという結果が出ました。人口減少社会の中で増加することは町の活力であり民間の投資を呼び込む力となります。さらには町の一大イベントである「ど〜んとかがし祭」に、巨大わらかがし「シン・ゴジラ」が出現しました。この巨大わらかがしは、制作スタッフやふるさと納税で寄附をしていただいた方など、多くの方々のご尽力により完成したものです。この巨大わらかがしの完成は町を全国に発信する機会となり、町の知名度の向上と県内外から多くの来場につながりました。その他にも合併 10 年検証報告書公表、熊本地震での支援活動、地域おこし協力隊の導入など様々な取り組みを行いました。少しずつではありますが、地方創生に向けまた一歩前進した 1 年であったと思います。

昨年まで育ててきたもののうち、今年芽吹くものの一部を紹介しますと、3 月には大刀洗平和記念館増築部分が完成し、展示物の拡大や、今

まで対応できなかった大人数の修学旅行生等の団体受入が可能となり、平和の大切さを語り継ぐ情報の発信基地としての機能の強化が期待できます。また、多目的運動公園につきましても野球場が完成し、4月には公園内のすべての施設が利用可能となります。子どもから大人まで楽しめる筑前町の新たな拠点となることを期待します。

さて、ご承知のとおり、私たちを取り巻く環境は国際情勢、少子高齢化などますます厳しさを増しています。この難局を乗り越えるためには住民の皆様はもとより、様々な分野を超え、皆で力を合わせ筑前町の地方創生を推進していくことが必要です。皆様とともに「なせば成る」を合言葉に、より一層筑前町を活力のある町にしていきたいと考えています。

結びに本年が皆様方にとって幸多き年であることを、また、実り多き年となることをご祈念申し上げまして新年のごあいさつとさせていただきます。

筑前町長 田頭 喜久己